



2020年度(令和2年度)兵庫県公立学校 教員採用候補者選考試験実施要項

兵庫県教育委員会

2020年度(令和2年度)の兵庫県内公立小・中・特別支援学校(神戸市立を除く)および県立高等学校・市立定時制高等学校(尼崎市立定時制高等学校)の教員採用候補者選考試験を次のとおり行います。

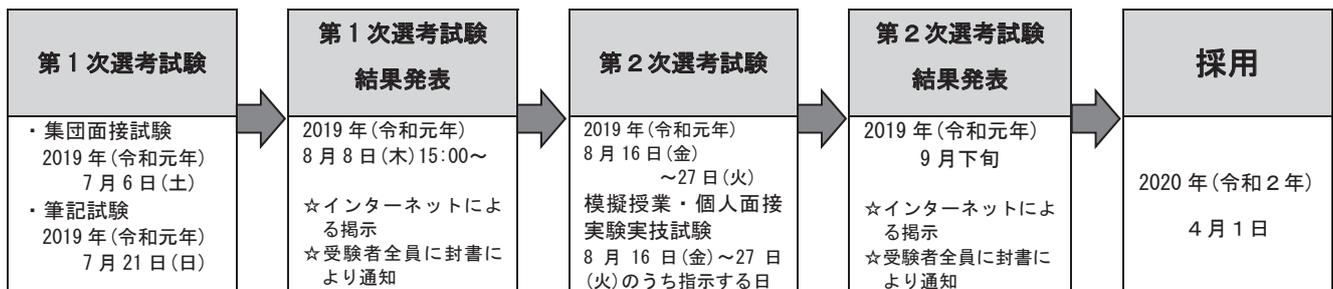
なお、中学校、高等学校および養護教諭区分の合格者には、公立大学法人兵庫県立大学附属高等学校・中学校または市立全日制高等学校(尼崎市立高等学校・西宮市立高等学校・伊丹市立高等学校・明石市立高等学校・姫路市立高等学校)に採用される者も含まれます。

【昨年度からの主な変更点】

- 1 各種受験制限等の廃止
年齢や障害種別に関わらず、受験を可能とします。
(1) 年齢…年齢制限を設けない(ただし、採用時に定年に達していない者) → P3のⅡ(3)参照
(2) 障害者特別選考…障害の種別を限定しない → P5のⅢ4(1)参照
- 2 優秀な人材確保のためのさらなる取組
(1) 「音楽」「美術」「技術」「家庭」のいずれかを含む複数中学校免許所有者の確保
中学校・特別支援学校区分において、「音楽」「美術」「技術」「家庭」のいずれかを含む複数の中学校免許状所有者が特別選考を希望した場合は、優先して選考します。
→ P6のⅢ4(2)参照
(2) 特別支援学校の免許に加えて、他の教科の専門性を有する教員の確保
中学校・特別支援学校区分における特別支援学校第1次選考試験合格者について、第2次選考試験の模擬授業を、特別支援に加え、専門教科でも実施します。
→ P10のⅣ3(1)参照
- 3 受験科目の見直し
(1) 第1次選考試験における一般教養試験の時間と出題数の精査 → P9のⅣ2(2)参照
(2) 他府県等で2年以上勤務している公立学校現職教員については、これまでの第1次選考試験における教科専門試験の免除に加えて、一般教養試験を免除します。
→ P5のⅢ3(2)参照
- 4 第2次選考試験の結果区分の見直し
第2次選考試験の結果は、「合格」「条件付合格」「不合格」の区分で行います。
※「条件付合格」: 2020年(令和2年)3月末までに合格者に辞退等が生じたときは、採用される場合があります。
→ P12のⅥ1参照

☆出願から採用までのスケジュール

願書受付 2019年(令和元年)5月7日(火)～5月17日(金)



目次

I 募集区分・教科・人数 P2	7 第2希望〔中学校・特別支援学校区分、高等学校区分〕 . . . P7
II 出願資格 P3	8 特別支援学校の希望〔小学校・特別支援学校区分、中学校・特別支援学校区分〕 . . . P7
III 出願について	9 採用地域希望優先制度〔小学校・特別支援学校区分〕 . . . P8
1 必要書類 P3	IV 選考試験の実施について
2 受付期間・方法等 P4	1 選考試験の実施 P8
3 選考試験の免除	2 第1次選考試験 P8
(1) 第1次選考試験免除 P4	3 第2次選考試験 P10
(2) 現職一般・専門試験免除 P5	V 異常気象、交通事故等発生時の選考試験実施情報について . . . P12
4 特別選考	VI 結果発表等について
(1) 障害者を対象とした特別選考 P5	1 選考試験の結果発表 P12
(2) 複数中学校免許所有者への特別選考 P6	2 採用に際しての留意事項 P13
(3) 特別免許状授与を前提とした社会人特別選考 P6	3 採用時の特例 P13
5 加点措置 P6	VII 試験当日のお知らせ P13
6 配慮措置 P7	願書作成の手引き P14～

I 募集区分・教科・人数

区 分	教 科	人 数
(1) 小学校・特別支援学校		小学校 340名 特別支援学校 20名
(2) 中学校・特別支援学校	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、 技術、家庭、英語	中学校 250名 特別支援学校 20名
(3) 高等 学 校	国語、地理歴史・公民、数学、理科、保健体育、 音楽、美術、書道、英語、家庭、情報、農業、工 業、商業、水産、看護、福祉	170名
(4) 特 別 支 援 学 校		50名
(5) 養 護 教 諭		40名
(6) 栄 養 教 諭		15名
(7) 障害者を対象とした特別選考	募集するすべての区分および教科	いずれも若干名 (採用予定数は全体の数に含みます。)
(8) 特別免許状授与を前提とした社会人特別選考	高等学校「看護」・高等学校「福祉」	
合 計		905名

<中学校：教科別内訳>

校 種	教 科	人 数
中学校	国 語	28名
	社 会	34名
	数 学	37名
	理 科	28名
	音 楽	18名
	美 術	13名
	保健体育	35名
	技 術	10名
	家 庭	16名
	英 語	31名
合 計		250名

<高等学校：教科・科目別内訳>

校 種	教 科	人 数
高等学校	国 語	26名
	地理歴史・公民	22名
	数 学	13名
	理科(物理)	1名
	理科(化学)	3名
	理科(生物)	8名
	保健体育	22名
	音 楽	1名
	美 術	1名
	書 道	1名
	英 語	33名
	家 庭	3名
	情 報	3名
	農業(農業・園芸)	8名
	工業(機械)	7名
	工業(電気・電子)	5名
	工業(建築)	3名
	商 業	3名
	水 産	1名
	看 護	2名
福 祉	4名	
合 計		170名

Ⅱ 出願資格

- (1) 地方公務員法第16条の欠格条項および学校教育法第9条の欠格事由に該当しない者であること。
- (2) 小・中・高・特別支援学校を受験する者は、それぞれの教諭普通免許状（実習免許状及び自立活動免許状は除く）、高等学校「地理歴史・公民」を受験する者は、地理歴史及び公民の普通免許状、高等学校「水産」を受験する者は、水産または商船の普通免許状（ただし、水産の普通免許状を有する者の場合、船舶を専門とする）、養護教諭を受験する者は、養護教諭普通免許状、栄養教諭を受験する者は、栄養教諭普通免許状を有する者であること。または2020年（令和2年）4月1日までに取得見込みの者であること。
- (3) 昭和35年4月2日以降に生まれた者であること。
- (4) 「中学校・特別支援学校区分」または「高等学校区分」の英語を受験する者は、以下の①～④のいずれかの資格を出願時に有している者であること。
 - ① 英語検定2級以上
 - ② TOEIC(L&R)550点以上
 - ③ TOEFL(iBT)60点以上
 - ④ 国連英検B級以上
 ※1 ②については、TOEIC(IP)は対象外。
 ※2 ③については、有効期限内のものに限る。また、TOEFL(CBT)は2006年に廃止されているため対象外。
- (5) 高等学校「福祉」「情報」を受験する者は、受験教科の高等学校教諭普通免許状所有（または2020年（令和2年）4月1日までに取得見込み）に加え、他の教科の高等学校教諭普通免許状を所有（または2020年（令和2年）4月1日までに取得見込み）する複数免許所持者であること。ただし、「福祉」受験者のうち「介護福祉士」の正規職員として5年以上の勤務経験を有する者は除く。

Ⅲ 出願について

1 必要書類

- (1) 受験者全員 受験願書(A4片面で2枚)及び切手2枚(貼付用紙に62円切手1枚・82円切手1枚を貼ること)
 - ※1 教職員課ホームページ(アドレス→P13参照)からダウンロードした様式に入力し、プリントアウトしたものを(手書きおよびQRコードが付されていないものは不可)。
 - ※2 複数の区分・教科への出願は認めません。重複して出願した場合はすべて無効とします。
 - ※3 願書提出後の記入内容の変更は認めません。
 - ※4 身体等の事情により、受験に際して特に配慮を必要とする者は、必要事項を願書に記入してください。
- (2) 英語受験者全員 出願資格(Ⅱ(4))となる英語資格所有を証明するもの
- (3) 下表のいずれかに該当し、免除等を希望する者

記載頁	項目番号	対象者	必要書類(※1)
P4	3(1)①	平成30年度実施の本県教員採用試験の第2次選考試験において“1次試験免除”と判定された者	履歴証明書B (兵庫県教育委員会・国公立大学法人任用の場合) 履歴証明書C (兵庫県内市町村組合教育委員会任用の場合)
	3(1)②	「平成28年度実施」または「平成29年度実施」の本県教員採用試験の第2次選考試験において“1次試験免除”と判定された者	履歴証明書B (兵庫県教育委員会・国公立大学法人任用の場合) 履歴証明書C (兵庫県内市町村組合教育委員会任用の場合)
P5	3(1)③	高等学校「看護」の免許を有し、看護師等の経験を有する高等学校「看護」受験者	履歴証明書D
	3(1)④	過去の本県の正規の教諭、養護教諭、栄養教諭	履歴証明書B(※2)
	3(2)	現職の教諭、養護教諭、栄養教諭	履歴証明書A
	4(1)	障害者を対象とした特別選考の受験者	身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳または療養手帳等(写)(※3)
P6	4(3)	特別免許状授与を前提とした社会人特別選考の高等学校「看護」「福祉」受験者	履歴証明書D
	5(1)～(4)	加点措置を希望する者	資格を証明できる書類(写)
P7	6(3)	本県内の臨時講師経験者(3年以上)	履歴証明書B

※1 「履歴証明書A、B、C、D」の様式は、ホームページ(アドレス→P13参照)よりダウンロードできますが、様式の項目が満たされていればその他の様式でも構いません。いずれの場合も所属長(校長)または任命権者の証明印が必要です。

証明を依頼する際、人事通知書の写しを必ず添付してください。

[所属長(校長)の証明の場合]

勤務したそれぞれの所属長(校長)の証明が必要となります。

[任命権者の証明の場合]

兵庫県内の市町立学校については、同一教育事務所管内の学校であれば、所管教育事務所で一括して証明できます。所管教育事務所へお問い合わせください。

兵庫県内の県立学校については、県教育委員会事務局教職員課で一括して証明できます。

兵庫県内の市町組合教育委員会（神戸市を除く）の場合は、任用されている各市町組合教育委員会で証明をもらってください。

- ※2 P5 3(1)④の過去の本県の正規の教諭、養護教諭、栄養教諭は、P5 3(1)④(ア)および(イ)の両方の証明が必要です。
- ※3 障害者手帳等の交付機関名、交付年月日（再交付年月日）、障害名、障害者等級表による級別の記載されたページの写し

2 受付期間・方法等

- (1) **受付期間** 2019年(令和元年)5月7日(火)～5月17日(金) [郵送の場合 5月15日(水)の消印有効、国内郵便に限る]
- (2) **受付方法** 郵送または持参による。大学・短大卒業見込みの者については、可能な限り、大学・短大経由で一括して提出してください。なお、具体的な取扱いは、それぞれの大学・短大の指示に従ってください。
[郵送の場合] 必ず簡易書留としてください。
(提出先) 〒650-8567 (この郵便番号を使うと住所の記載は不要ですが、宛先は記載してください)
兵庫県教育委員会事務局教職員課 選考試験係
なお、郵送の封筒は角2号(240mm×332mm)を使用し、表面に [願書在中、高校・国語] のように出願の区分および教科を朱書してください。また、郵送の際は、消印の日を必ず確認してください。
[持参の場合] 兵庫県教育委員会事務局教職員課まで持参してください。
[受付場所: P20地図参照、受付時間: 9時30分～17時00分 (土・日曜日を除く)]

(3) 受験票の交付

受験票は、受付期間終了後、2019年(令和元年)6月中旬に送付します。
2019年(令和元年)6月24日(月)の時点で受験票が到着しない場合は、選考試験係までお問い合わせください。

3 選考試験の免除

(1) 第1次選考試験免除

次の①～④の者については、希望により第1次選考試験を免除しますので、希望する者は願書の所定欄に入力してください。(入力方法: P14 参照)

- ① 平成30年度実施の本県教員採用試験の第2次選考試験において、“1次試験免除”と判定された者

出願時点において、大学院修士課程在学、もしくは本県内の公立学校（兵庫県立大学附属、兵庫教育大学附属及び神戸大学附属の各学校を含み、神戸市立学校を除く）において、次のa～cのいずれかに該当する者

- a. 常勤の臨時講師
- b. 正規の勤務時間（38時間45分）の半分以上勤務する非常勤講師
- c. 週12時間以上の授業を担当する非常勤講師

かつ

1次試験免除と判定された校種・教科と同じ校種・教科を受験する者
(「小学校・特別支援学校区分」および「中学校・特別支援学校区分」については、1次試験免除と判定された区分および教科を第1希望として出願する場合に限る。)

大学所定の証明書、履歴証明書Bまたは履歴証明書Cが必要

- ② 「平成28年度実施」または「平成29年度実施」の本県教員採用試験の第2次選考試験において、“1次試験免除”と判定された者

平成29年4月1日から平成31年3月31日の間に、本県内の公立学校（兵庫県立大学附属、兵庫教育大学附属及び神戸大学附属の各学校を含み、ただし、神戸市立学校を除く）において、次のa～cのいずれかに該当し、1年以上の勤務経験を有する者

- a. 常勤の臨時講師
- b. 正規の勤務時間（38時間45分）の半分以上勤務する非常勤講師
- c. 週12時間以上の授業を担当する非常勤講師

かつ

1次試験免除と判定された校種・教科と同じ校種・教科を受験する者

履歴証明書Bまたは履歴証明書Cが必要

③ 高等学校「看護」の免許を有する高等学校「看護」受験者

「Ⅱ 出願資格」の(1)～(3)のすべてを満たす者
かつ
2020年(令和2年)3月31日現在、休職・育児休業期間等、勤務実態のない期間を除き、国公立および民間病院・保健所等において「看護師」「助産師」「保健師」の正規職員として5年以上の勤務経験を有する者(看護学校等の教官経験を含む)
履歴証明書Dが必要

④ 本県の正規の教諭、養護教諭または栄養教諭として過去に勤務経験のある者

(ア) 過去に本県内の公立学校(神戸市立学校を除く)の正規教諭、養護教諭または栄養教諭として休職・育児休業期間等、勤務実態のない期間を除き、2年以上の勤務経験を有する者(ただし、受験する区分および教科と同一の教職経験に限る。)
かつ
(イ) 平成26年4月1日から平成31年3月31日の間に、本県内の公立学校(兵庫県立大学附属、兵庫教育大学附属及び神戸大学附属の各学校を含み、神戸市立学校を除く)において、次のa～cのいずれかに該当し、3年以上の勤務経験を有する者
a. 常勤の臨時講師 b. 正規の勤務時間(38時間45分)の半分以上勤務する非常勤講師
c. 週12時間以上の授業を担当する非常勤講師
かつ
(ウ) 処分等を受けたことにより退職した者でない者
履歴証明書Bが必要(上記④(ア)(イ)のいずれの証明も必要)

※1 勤務経験年数の考え方は、各月ごとに30日未満の勤務についても1月の勤務とカウントし、12月で1年とする。

※2 上記①②及び④(イ)について、

- ・兵庫県内の市町組合教育委員会(神戸市を除く)または国公立大学法人が独自に任用する臨時講師・非常勤講師等の場合は、教員免許状を有した者で正規の授業を担当し、県教育委員会が任用する臨時講師等と同等の職務であると認められる場合に限り、
- ・県立日高高等学校および龍野北高等学校の看護科・福祉科の実習助手のうち、看護師免許を有する看護科の実習助手は臨時講師(養護担当)、介護福祉士または看護師免許を有する福祉科の実習助手は高校福祉の臨時講師とそれぞれみなして、免除要件を適用します。

(2) 現職一般・専門試験免除(第1次選考試験は集団面接試験を実施)

次の各号すべてに該当する者は、第1次選考試験において一般教養試験と教科専門試験を免除しますので、現職一般・専門試験免除を希望する者は願書の所定欄に記入してください。(入力方法:P14参照)

また、免除と認定した者には、受験票の現職一般・専門免除欄にその旨印字しますので必ず確認してください。

(ア) 公立学校の現職の教諭、養護教諭または栄養教諭

(イ) 2020年(令和2年)3月31日現在、休職・育児休業期間等、勤務実態のない期間を除き、2年以上の勤務経験を有する者(ただし、受験する区分および教科と同一の教職経験に限る。)(「小学校・特別支援学校区分」および「中学校・特別支援学校区分」については、「受験する第1希望の区分および教科と同一の職務経験」に限る。)
履歴証明書Aが必要

4 特別選考

(1) 障害者を対象とした特別選考

次の各号すべてに該当する者は、障害者を対象とした特別選考を受験できます。なお、試験内容等は一般選考と同じですが、選考にあたっては一般の受験者に優先して行います。

なお、身体等の事情により、受験に際して特に配慮を必要とする者は、必要事項を願書に記入してください。

(ア) 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳または療育手帳のいずれかを有している者(障害者職業センター等の公的判定機関で知的障害者と判定された者を含む)
かつ
(イ) 「Ⅱ 出願資格」は一般選考と同じ
身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳等(写し)が必要

(2) 「音楽」「美術」「技術」「家庭」のいずれかを含む複数中学校免許所有者への特別選考

次の各号すべてに該当する者は、中学校・特別支援学校区分において、「音楽」「美術」「技術」「家庭」のいずれかを含む複数の免許所有者は、希望により特別選考を受験できます。試験内容等は一般選考と同じですが、選考にあたっては一般の受験者に優先して行います。

なお、特別選考で合格した場合は、①志望する教科及び教科（音楽・美術・技術・家庭のいずれか）を指導すること、②採用地域で一定期間（9年）勤務することを採用の条件とします。

(ア) 「音楽」「美術」「技術」「家庭」のいずれかを含む複数の中学校普通免許状を有している者
かつ
(イ) 「Ⅱ 出願資格」は一般選考と同じ

(3) 特別免許状授与を前提とした社会人特別選考（高等学校(看護)、高等学校(福祉)）

次の各号すべてに該当する者は、教育職員免許状を有しない社会人を対象とした特別選考を受験することができます。なお、選考方法（試験内容・日時・会場等）は一般選考と同じです。

高等学校「看護」・「福祉」受験者
↓
(ア) 「Ⅱ 出願資格」の(1)および(3)の両方を満たす者
かつ
(イ)
「看護」 2020年(令和2年)3月31日現在、休職・育児休業等、勤務実態のない期間を除き、国公立および民間病院・保健所等において、「看護師」「助産師」「保健師」の正規職員として5年以上の勤務経験を有する者（看護学校の教官経験を含む）
「福祉」 2020年(令和2年)3月31日現在、休職・育児休業等、勤務実態のない期間を除き、国公立および民間病院・保健所等において、「介護福祉士」の正規職員として5年以上の勤務経験を有する者
かつ
(ウ) 該当教科の教員として勤務を行うのに必要な高い専門知識・技能を有する者
➡ 履歴証明書Dが必要

5 加点措置

以下(1)～(4)に該当する者については、第1次選考試験において加点しますので、加点措置を希望する者は、受験願書の所定欄に記入してください。（入力方法：P16参照）また、資格等を証明できる書類（写）を提出してください。資格等を確認できない場合は加点措置を行いません。なお、**加点の最大は30点**です。

	対 象	加 点																										
(1)	<p>一芸、一能に秀でた者（高校在学中及び卒業後） 体育分野および芸術分野において、下表の経験を有する者</p> <table border="1"> <tr> <td>体育分野</td> <td>国際大会：選手として参加 （アジア大会、ユニバーシアード、オリンピック等） 全国大会：選手として全日本選手権6位以内、国体、インカレ、インターハイ等3位以内</td> </tr> <tr> <td>芸術分野</td> <td>国際大会：参加 全国大会：3位以内（日展、吹奏楽コンクール等）</td> </tr> </table>	体育分野	国際大会：選手として参加 （アジア大会、ユニバーシアード、オリンピック等） 全国大会：選手として全日本選手権6位以内、国体、インカレ、インターハイ等3位以内	芸術分野	国際大会：参加 全国大会：3位以内（日展、吹奏楽コンクール等）	20点																						
体育分野	国際大会：選手として参加 （アジア大会、ユニバーシアード、オリンピック等） 全国大会：選手として全日本選手権6位以内、国体、インカレ、インターハイ等3位以内																											
芸術分野	国際大会：参加 全国大会：3位以内（日展、吹奏楽コンクール等）																											
(2)	<p>英語資格所有者（小学校・特別支援学校区分および英語受験者のみ） 「小学校・特別支援学校区分」の受験者、「中学校・特別支援学校区分または高等学校区分」の英語受験者で、出願時点において下表の資格を有する者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格名</th> <th>小学校・特別支援学校受験者</th> <th>中・特または高等学校の英語受験者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 英語検定</td> <td>準1級以上</td> <td>1級</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">② TOEIC</td> <td rowspan="2">1095点以上</td> <td>S&W 310点以上</td> </tr> <tr> <td>L&R 785点以上</td> </tr> <tr> <td>③ TOEFL (iBT)</td> <td>72点以上</td> <td>95点以上</td> </tr> <tr> <td>④ 国連英検</td> <td>B級</td> <td>A or A特級</td> </tr> <tr> <td>⑤ ケンブリッジ英検</td> <td>FCE (160点) 以上</td> <td>CAT (180点) 以上</td> </tr> <tr> <td>⑥ IELTS</td> <td>5.5点以上</td> <td>7点以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑦ GTEC</td> <td rowspan="2">1190点以上</td> <td>Advanced</td> </tr> <tr> <td>CBT 1350点以上</td> </tr> </tbody> </table>	資格名	小学校・特別支援学校受験者	中・特または高等学校の英語受験者	① 英語検定	準1級以上	1級	② TOEIC	1095点以上	S&W 310点以上	L&R 785点以上	③ TOEFL (iBT)	72点以上	95点以上	④ 国連英検	B級	A or A特級	⑤ ケンブリッジ英検	FCE (160点) 以上	CAT (180点) 以上	⑥ IELTS	5.5点以上	7点以上	⑦ GTEC	1190点以上	Advanced	CBT 1350点以上	20点
資格名	小学校・特別支援学校受験者	中・特または高等学校の英語受験者																										
① 英語検定	準1級以上	1級																										
② TOEIC	1095点以上	S&W 310点以上																										
		L&R 785点以上																										
③ TOEFL (iBT)	72点以上	95点以上																										
④ 国連英検	B級	A or A特級																										
⑤ ケンブリッジ英検	FCE (160点) 以上	CAT (180点) 以上																										
⑥ IELTS	5.5点以上	7点以上																										
⑦ GTEC	1190点以上	Advanced																										
		CBT 1350点以上																										

(3)	資格を有する者 下表の資格を有する者		20点
	臨床心理士		
	視能訓練士、手話通訳士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士		
	【高校「福祉」受験者】 介護福祉士または看護師（ただし、5年以上の実務経験を有する者）		
	【「小学校・特別支援学校」受験者】中学校または高校「英語」の免許		
	【「家庭」受験者】栄養士、管理栄養士、調理師		
	司書教諭（司書教諭資格講習修了者も含む）		10点
(4)	国際貢献活動の経験がある者 青年海外協力隊（JICA）での国際貢献活動において2年以上の活動経験を有する者		20点

➡ (1)～(4)について、資格等を証明できる書類（写）の提出が必要

6 配慮措置

次の(1)～(3)に該当する者については、選考に際して参考としますので、(1)～(3)に該当する者は、受験願書の所定欄に記入してください。（入力方法：P16参照）(3)については、履歴を証明できる書類を提出してください。(1)(2)についても、必要に応じて証明書等を提出していただくことがあります。

(1)	異校種・複数教科の免許等を持つ者	
	小特・中特受験者	小学校と中学校の免許状を所有する者
	中特受験者	中学校において複数教科の免許状を有する者
	高校受験者	高等学校において複数教科の免許状を有する者 ※「福祉」「情報」は複数所有が出願資格であるため除く
	特別支援学校受験者	高等学校のいずれかの免許状を有する者
(2)	看護師の実務経験が5年以上の者（「養護教諭」受験者）	
(3)	本県内の公立学校（神戸市立学校を除く）において臨時講師の経験を有する者 平成26年4月1日から平成31年3月31日の間に本県内の公立学校（神戸市立学校を除く）において、常勤の臨時講師として3年以上の勤務経験を有する者（ただし受験する区分および教科と同一の教職経験に限る。 （「小学校・特別支援学校区分」および「中学校・特別支援学校区分」については、「第1希望として出願する区分および教科と同一の職務経験」に限る。） ※1 勤務経験年数の考え方は、各月ごとに30日未満の勤務についても1月の勤務とカウントし、12月で1年とする。 ※2 本県内の公立学校には、国公立大学法人附属学校を含む。	
	➡ (3)については履歴証明書Bが必要	

7 第2希望〔中学校・特別支援学校区分、高等学校区分〕

中学校・特別支援学校区分（国語・数学・音楽・美術・保健体育・家庭・英語）および高等学校区分（国語・数学・保健体育・音楽・美術・英語・家庭）の受験者のうち当該免許を持つ者は、第2希望として高等学校（国語・数学・保健体育・音楽・美術・英語・家庭）または中学校・特別支援学校区分（国語・数学・音楽・美術・保健体育・家庭・英語）を希望することができます。

また、養護教諭区分の受験者のうち高等学校看護の免許を持つ者は、第2希望として高等学校区分の看護を希望することができます。希望する者は、願書の所定欄に入力してください。（入力方法：P15参照）

※1 中学校・特別支援学校区分の受験者で、特別支援学校免許を持つ者が中学校を第1希望とする場合の第2希望は、高等学校または特別支援学校のいずれか一方しか認めません。

※2 中学校・特別支援学校区分の受験者で、「4(2)「音楽」「美術」「技術」「家庭」のいずれかを含む複数中学校免許所有者への特別選考」を希望する場合は、特別支援学校の第2希望は認めません。

8 特別支援学校の希望〔小学校・特別支援学校区分、中学校・特別支援学校区分〕

小学校・特別支援学校区分または中学校・特別支援学校区分の受験者のうち、特別支援学校免許所有者は、「特別支援学校」を第1希望または第2希望として希望できます。受験区分が「**小学校・特別支援学校**」または「**中学校・特別支援学校**」の者は全員、以下の希望パターンに応じて、願書の所定欄に入力してください。（入力方法：P15参照）

受験区分	試験内容	希望パターン	
小学校・特別支援学校	小学校と同じ	第1希望＝小学校	第2希望＝特別支援学校
		第1希望＝特別支援学校	第2希望＝小学校
		第1希望＝小学校	第2希望＝なし
		第1希望＝特別支援学校	第2希望＝なし

中学校・特別支援学校	中学校と同じ	第1希望＝中学校	第2希望＝特別支援学校
		第1希望＝特別支援学校	第2希望＝中学校
		第1希望＝中学校	第2希望＝なし
		第1希望＝特別支援学校	第2希望＝なし

9 採用地域希望優先制度〔小学校・特別支援学校区分〕

但馬、丹波、淡路の各地域で、ふるさとへの愛着と誇りを持ち、地域の教育課題を十分認識するなど、子どもたちのふるさと意識醸成にむけた教育を推進できる教員を確保するため、「小学校・特別支援学校」区分において、「採用地域希望優先制度」を実施します。

出願時にこの制度を希望し、一定の成績で合格した者は、希望した地域の市町組合立小学校での採用となります。

(採用後において、当該地域で原則10年以上勤務することが採用の条件となります。)

この制度を希望する場合は、願書の所定欄に入力してください。(入力方法:P16参照)

※ この制度は、配置にあたって希望を優先するものであり、選考方法は一般選考と同様で、選考に際して有利となるものではありません。また、この制度は、小学校区分で合格した場合のみ適用となります。

IV 選考試験の実施について

1 選考試験の実施

受付時間に遅刻した者は、受験できませんので注意してください。

※1 受付後、試験終了まで会場敷地外へ出ることはできません。

※2 出願後に受験を辞退する場合の連絡は不要です。試験を欠席された時点で辞退として取り扱います。

※3 試験場入口から受付場所まで時間のかかる会場もありますので、注意してください。

※4 公共交通機関を利用して来場してください。

(会場および会場付近の店舗等の駐車場に自家用車、自動二輪車、原動機付自転車等を駐車することは認めません。また、近隣住民への迷惑防止及びトラブル防止のため、会場付近のコンビニ等での駐車や会場付近での乗降、折り返し等は固く禁じます。なお、身体的な事情により、公共交通機関での来場が困難な方は、事前にご相談ください。)

※5 各会場は全面禁煙になっていますのでご協力ください。

※6 上ばき、筆記用具等の各会場での貸し出しは行いません。

※7 試験場については、P20～22の地図を参照してください。

2 第1次選考試験

(P4 3(1)「第1次選考試験免除」に該当する受験者は受験する必要はありません。)

(1) 集団面接試験

日 時 2019年(令和元年)7月6日(土)

内 容 ※集団面接のテーマについては6月下旬までにホームページ(アドレス→P13参照)に掲載します。

試験区分	時間	内容	配点
集団面接	約20分	・受験者8人程度に対して、面接委員は2人程度。集団討議を実施する。	100点

試験場

区分・教科	試験場
区分・教科ごとの試験場や受付時間等は、6月中旬にホームページへ掲載します。 (アドレス→P13参照)	関西学院大学西宮聖和キャンパス (西宮市岡田山7-54) 神戸親和女子大学鈴蘭台キャンパス (神戸市北区鈴蘭台北町7-13-1) 県立御影高等学校 (神戸市東灘区御影石町4-1-1) 県立加古川東高等学校 (加古川市加古川町粟津232-2) 県立播磨南高等学校 (加古郡播磨町古宮167-3)

携行品

受験票、筆記用具(HB鉛筆、消しゴムを含む)、上ばき(関西学院大学、神戸親和女子大学、県立御影高等学校は不要)

集団面接試験の評定

集団面接試験は次の評定項目に基づいて3段階評定で実施します。

評定項目	主な内容
(1) 健康度	困難を克服する精神力や健康性に関する評価
(2) 積極性	仕事に対する意欲や情熱に関する評価
(3) 共感性	児童生徒に対する共感性に関する評価
(4) 社会性	周囲とのコミュニケーション能力に関する評価

(2) 筆記試験

日時 2019年(令和元年)7月21日(日) 受付時間 8時20分～8時50分 試験 9時00分～12時35分

内容

試験区分	時間	内容	配点
一般教養	60分	一般教養に関するもの (英語の運用力をみる問題、情報機器の利用についての問題、 教職教養に関する問題、時事問題を含む。)	択一式 100点
教科専門	90分	・小学校・特別支援学校区分は5教科(国語、社会、算数・数学、 理科、英語) [概ね義務教育課程修了程度] ・それ以外は出願教科の専門に関するもの ※2	記述式 200点

※1 現職の教諭等で一般教養・教科専門試験の免除を希望する受験者(P5 3(2)「現職一般・専門試験免除」参照)については、筆記試験が免除されます。

※2 高等学校の次の教科については、出題区分に応じて教科共通の問題と次に掲げる各科目・分野の専門に関する内容とします。

教科	科目	教科	科目(分野)
理科	物理、化学、生物	農業	農業・園芸
		工業	機械、電気・電子、建築

※3 筆記試験問題用紙は持ち帰ることができます。

※4 受付以降、試験終了までの間は試験場からの外出はできません。

試験場

区分・教科	試験場	
区分・教科ごとの試験場は、 7月上旬にホームページへ 掲載します。 (アドレス→P13参照)	兵庫県立大学神戸商科キャンパス (神戸市西区学園西町8-2-1) 関西学院大学西宮聖和キャンパス (西宮市岡田山7-54) 神戸親和女子大学鈴蘭台キャンパス (神戸市北区鈴蘭台北町7-13-1)	神戸女子大学須磨キャンパス (神戸市須磨区東須磨青山2-1) 県立播磨南高等学校 (加古郡播磨町古宮167-3) 県立尼崎稲園高等学校 (尼崎市猪名寺3-1-1)

携行品

受験票、筆記用具(HB鉛筆、消しゴムを含む)、上ばき(兵庫県立大学、関西学院大学、神戸親和女子大学、神戸女子大学は不要) (次の教科を受験する者は、下表の用具を含む。)

中学校・特別支援学校 高等学校	数学	直定規、コンパス	高等学校	商業	電卓または算盤
	理科	直定規		工業	直定規
中学校・特別支援学校	技術	直定規、三角定規 (1組)、コンパス、 分度器			
栄養教諭		電卓			

3 第2次選考試験

(1) 模擬授業・個人面接試験（すべての区分・教科で実施します）

日程等

区分・教科	実施日	試験場	受付時間等	携行品
小学校・特別支援学校 特別支援学校 養護教諭 栄養教諭	2019年（令和元年） 8月16日（金） ～ 8月27日（火） のうちいずれか 1日	県立神戸高等学校 （神戸市灘区域の下通1-5-1）	第1次選考試験結果発表時にホームページへ掲載します。 ※ 文書による通知は行いません。 ※ 日時の変更希望には対応できません。	・受験票 ・筆記用具（鉛筆、消しゴムを含む） ・92円切手1枚 ・上ばき（神戸高等学校、北須磨高等学校、兵庫県民会館は不要） ※ 試験場からの外出はできません。
中学校・特別支援学校		県立北須磨高等学校 （神戸市須磨区友が丘9-23）		
		県立芦屋高等学校 （芦屋市宮川町6-3）		
高等学校	県立加古川西高等学校 （加古川市加古川町本町118） 県立姫路東高等学校 （姫路市本町68-70） 兵庫県民会館 （神戸市中央区下山手通4-16-3） のいずれか ※ 区分・教科ごとの試験場は、第1次選考試験の結果発表時にホームページへ掲載します。			
国語、社会 数学、理科 音楽、美術 保健体育 技術、家庭 英語				
国語 地理歴史・公民 数学、理科 保健体育 音楽、美術 書道、英語 家庭、情報 農業、工業 商業、水産 看護、福祉				

※1 試験場については、P20～22の地図を参照してください。

※2 模擬授業・面接試験は、1次試験で合格と判定された校種・教科で実施します。

※3 中学校・特別支援学校区分における特別支援学校区分での合格者については、特別支援・専門教科ともに模擬授業を実施します。なお、個人面接については、特別支援学校区分で実施します。

内容

試験区分	時間	内容	配点
模擬授業	約15分	受験区分に応じて、約15分の模擬授業を実施する。模擬授業では、必ず板書を使用することとする。（ただし、養護教諭区分受験者には、模擬授業にかえて、約8分間の模擬保健指導を実施し、板書を使用しなくてもよい） なお、模擬授業や模擬保健指導の詳細な内容については、面接開始前に示すが、おおよその分野等については2019年（令和元年）7月下旬までにホームページでお知らせします。	120点
個人面接	約25分 （養護教諭区分は、約32分）	場面指導（学校現場において想定される生徒指導や保護者対応等）にかかる試問を含めて実施する。 【主な試問例】 ・願書の記載内容について ・志望動機について ・理想の教員像について ・これまで努力してきたこと ・教育法規等 ※なお、この例のすべてが全員に必ず試問されるとは限りません。	180点

※いずれも、受験者1人に対して、面接委員は3人程度。

模擬授業の評定

模擬授業は次の評定項目に基づいて5段階評定で実施します。

評定項目	主な内容
(1) 教材内容に関する知識・理解	教科等の専門知識に関する評価
(2) 構成力	授業の構成に関する評価
(3) 声・表情・所作	教員としての所作等に関する評価

個人面接試験の評定

個人面接試験は次の評定項目に基づいて5段階評定で実施します。

評定項目	主な内容
(1) 態度・表現力	表情や話し方に関する評価
(2) 意欲・積極性	仕事に対する意欲や情熱に関する評価
(3) 判断力	状況に応じた判断力に関する評価
(4) 専門性	教科科目の専門的指導力に関する評価
(5) 将来性	教員としての資質や人間性に関する評価

(2) 実験実技試験（下表の区分・教科のみ実施します）

区分 教科	実施日	試験場	実験実技試験の内容及び携行品		
			内容	携行品	
特別 支援 学校 音楽・体育 いずれも実施		県立夢野台高等学校 (神戸市長田区房王寺町 2-1-1)	音楽実技	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歌唱:「こいのぼり」(文部省唱歌) ※ 無伴奏、任意の調 ○ 器楽:「とんび」(文部省唱歌) ※ キーボード、鍵盤ハーモニカ またはソプラノリコーダー のいずれかを選択して演奏 ※ 楽譜は5月末にホームページ に掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 歌唱・器楽ともに楽譜を見ながらの演奏も可(会場の楽譜を使用すること) ※ 器楽にて、キーボード以外の楽器(鍵盤ハーモニカ、ソプラノリコーダー)を使用する場合は、各自で持参
			体育実技	<ul style="list-style-type: none"> ○ 器械運動(マット運動) ○ ボール運動(バスケットボール) 	<ul style="list-style-type: none"> 運動のできる服装、体育館シューズ(上ばきとは別のもの)
中学校・特別支援学校・高等学校	2019年(令和元年) 8月16日(金) ～ 8月27日(火) のうちいずれか 1日	県立西宮高等学校 (西宮市上甲東園 2-4-32)	音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新曲視奏(アルトリコーダー) ○ 弾き語り ○ 和楽器演奏(任意の楽器、任意の曲) ※ 選考試験係で用意する楽器: 箏、和太鼓 ○ 専門実技 	アルトリコーダー、専門実技に使用する楽器
			家庭 理科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 被服、食物に関する基礎的・基本的な技術 	裁縫用具、実習用白衣、三角巾
		保健 体育	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実験・観察 ○ 器械運動 ○ 陸上競技 ○ 水泳 ○ 球技(バスケットボールまたはバレーボール) ○ 武道(柔道または剣道)またはダンス 	運動のできる服装、体育館用シューズ、屋外用シューズ、水着、水泳帽(ゴーグルの使用可)、柔道衣または剣道用具またはダンスのできる服装	
		英語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 英語によるコミュニケーション能力テスト 	辞書(電子も可)※ただし携帯電話・タブレット端末の辞書機能は不可	
		美術	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鉛筆デッサン ○ 基礎デザイン(色彩構成) 	鉛筆デッサン用具一式、平面デザイン用具一式(ポスターカラー等)、30cmの直定規 ※上記用具には画板(カルトン)を含む。	
中特	技術		<ul style="list-style-type: none"> ○ ものづくりに関する基礎的技術 ○ パソコンに関する基礎的技術 	実習服及び運動靴	

高等学校	工業	2019年(令和元年) 8月16日(金) ～ 8月27日(火) のうちいずれか 1日	県立兵庫工業高等学校 (神戸市兵庫区和田宮通 2-1-63)	○ 機械:機械に関する基礎的技術 ○ 電気・電子:電気・電子に関する基礎的技術 ○ 建築:建築に関する基礎的技術	機械:実習服・実習帽・安全靴 電気・電子:実習服・実習帽 建築:実習服
	書道			○ 毛筆・硬筆	書道道具一式 (2B鉛筆含む)、 30cmの直定規
	商業			○ コンピュータの活用技術	※ 共通携行品以外なし
	情報			○ コンピュータの活用技術	※ 共通携行品以外なし
	養護教諭			○ 養護教諭の職務に関する基礎的技術	動きやすい服装

※1 小学校・特別支援学校または中学校・特別支援学校区分の「特別支援学校」での第1次選考合格者も、出願時の区分教科(小学校又は中学校の各教科)で実験実技試験を実施します。

※2 受付時間は第1次選考試験結果発表時にホームページ(アドレス→P13)へ掲載します。また、上表以外にさらに携行品が必要となった場合等も、第1次選考試験結果発表時にホームページへ掲載します。

携行品<共通>

受験票、筆記用具(鉛筆、消しゴムを含む)、上ばき(県立夢野台高等学校は不要)

実験実技試験の配点

	区分	教科	配点
①	小学校・特別支援学校		100点
②	中学校・特別支援学校 高等学校	音楽、美術、体育	150点
③	中学校・特別支援学校 高等学校	②以外の教科	100点
④	養護教諭		100点

V 異常気象、交通事故等発生時の選考試験実施情報について

大雨、台風、地震等による交通途絶等が発生した場合は、選考試験実施情報をホームページへ掲載します。

VI 結果発表等について

1 選考試験の結果発表

区分	発表日時(予定)	備考
第1次選考試験	2019年(令和元年)8月8日(木)15時	・合格者の受験番号をホームページ(アドレス→P13参照)へ掲載 ・受験者全員に合否結果を郵送
第2次選考試験	2019年(令和元年)9月下旬	

※1 第2次選考試験の受付日時、試験場等については、第1次選考試験の結果発表時にホームページ(アドレス→P13参照)へ掲載します。

※2 第2次選考試験結果の発表日時は、第2次選考試験の実施後にホームページ(アドレス→P13参照)へ掲載します。

※3 全校種・教科共通で第1次試験の筆記試験(一般・教科専門)について、教科ごとの合格基準を設定します。

※4 各試験の合格基準に達しない場合は、総合判定得点の如何にかかわらず不合格となります。

※5 最終合否は第1次選考試験の成績に関わらず、第2次選考試験の結果のみで決定します。

※6 第2次選考試験の結果は「合格」「条件付合格」「不合格」の区分で行います。

「条件付合格」:2020年(令和2年)3月末までに合格者に辞退等が生じたときは、採用される場合があります。

<選考試験の成績開示等>

「第1次試験結果が不合格の者」及び「第2次試験結果が条件付合格または不合格の者」に対して、「総合判定得点」と「総合判定順位」を試験結果通知に印字して通知します。

2 採用に際しての留意事項

- (1) 特別支援学校区分での合格者は、県立特別支援学校または市立特別支援学校(神戸市立を除く)に採用となります。
- (2) 日本国籍を有しない者を採用する場合は、任用の期限を附さない常勤の講師となります。
- (3) 本県教諭(2(2)に示した常勤の講師を含む、以下同じ)として採用されてから1年間(養護教諭及び栄養教諭においては6月)は条件附採用となります。この間、教員として職務を良好に遂行したときに初めて正式採用となります。
- (4) 小学校・特別支援学校区分の受験者で、教諭として採用された者には、採用後、その年度の9月末までに**配置校の所属長による泳力証明の提出**を求めています。なお、泳力については、「25m以上泳げること(泳法は問わない)」とします。
- (5) 教員として採用するにあたり、ふさわしくない非違行為があった場合は、合格を取り消すことがあります。

3 採用時の特例

大学院修士課程に在学又は大学院修士課程に進学する第2次選考試験合格(条件付合格は除く)者の採用時の特例扱いについて

専修免許状を取得できる大学院修士課程に今年度進学した者、もしくは今年12月末日までに来年度進学することが決定している者であって、修士課程修了を希望する者に対して、最長2年間採用を猶予します(今年度大学院に進学した者は1年間、来年度進学する者は2年間)。また、教職大学院の教職修士課程についても、大学院修士課程と同様の取り扱いとします。

(取り扱いの範囲等)

- ①2020年度(令和2年度)兵庫県公立学校教員採用候補者選考試験に合格後、大学院在学または進学を理由として採用の猶予を申し出ること。
 - ②猶予期間終了までに大学院修士課程を修了すること。
 - ③猶予期間終了までに、2020年度(令和2年度)兵庫県公立学校教員採用候補者選考試験で合格した区分・教科または職の専修免許状を取得すること。
- ※②③の要件を満たさなかった場合は、教員採用候補者名簿から削除され、採用することができません。

Ⅶ 試験当日のお知らせ

- ・ 第1次、第2次選考試験とも自家用車等での来場はお断りします。
(会場および会場付近の店舗等の駐車場に自家用車、自動二輪車、原動機付自転車を駐車することは認めません。また、近隣住民への迷惑防止及びトラブル防止のため、会場付近のコンビニ等での駐車や会場付近での乗降、折り返し等は固く禁じます。なお、身体的な事情により公共交通機関での来場が困難な方は、事前にご相談ください。)
- ・ 兵庫県では適正冷房による省エネルギーの一層の推進のため「夏のエコスタイルキャンペーン」として軽装(上着・ネクタイを着用しない)勤務に取り組んでいますので、趣旨をご理解いただき、軽装での受験をお願いします。
- ・ この募集案内に掲載された内容については、ホームページでも公開しています。

●教員採用関係のアドレス <http://www.hyogo-c.ed.jp/~kyoshokuin-bo/index.html>

－ 願書作成の手引き －

- ① 兵庫県教育委員会事務局教職員課ホームページからダウンロードした様式にデータ入力し、願書を作成していただきますが、**願書を作成する際には、願書様式ダウンロード上の注意事項を必ず読んでください。**（QRコードが付いていない、エコプリント等で印字が薄い場合など、不備の内容によっては再提出を求められることがあります。）
- ② ファイルについて、**黄色のセル＝必須入力項目、水色のセル＝任意入力項目**となっていますので、プリントアウト前に必須入力項目の入力漏れがないかチェックしてください。
- ③ プルダウン(ドロップダウン)リストから選択する項目については、**直接入力せずにリストから該当する内容を選択**してください。
- ④ 必ず片面(A4)印刷とし、ホッチキス止めはしないでください。（両面印刷はしないこと。）
- ⑤ 1ページ目下部に付いている2箇所のQRコードをスキャンして入力データを読み取りますので、**QRコードの部分**は絶対に汚さないでください。
- ⑥ 2ページ目にある「この欄は印刷後に自書すること」としている箇所については、**パソコン入力せず、プリントアウト後に黒色のボールペン(消せるボールペンは不可)で自書**してください。
- ⑦ 3ページ目に切手貼付用紙がありますので、データ入力後に願書と併せてプリントアウトし、**所定の位置に切手を2枚(62円切手1枚・82円切手1枚)貼って提出**してください。
また、**写真欄に写真を貼るのを忘れない**ようにしてください。

【パソコンでデータ入力する内容について】

- 1 「区分」「教科・科目(分野)」欄のうち、区分の欄については、「小特(男)」「小特(女)」「中特」「高」「養護教諭」「特別支援学校」「栄養教諭」のいずれか一つを、また「中特」「高」は教科・科目(分野)の欄に教科名をそれぞれプルダウンリストから選択してください。入力すると自動でコード欄に3桁の数字が表示されますので、P17【区分・教科コード表】で確認してください。
- 2 「現在の身分」欄に**下表の該当するコードをプルダウンリストから選択**してください。

現在の身分	コード	現在の身分	コード
大学生	1	正規の教員	5
大学院生	2	教員以外の公務員(正規)	6
兵庫県内の臨時講師等(非正規)	3	民間企業(正規)	7
兵庫県 以外 の臨時講師等(非正規)	4	その他	8

- 3 (1) P5 3(2)に該当する者で、現職一般・専門免除を希望する者は「現職一専免除」欄に「○」をプルダウンリストから選択してください。
- (2) P4 3(1)①に該当する者で、第1次選考試験免除を希望する者は「H31結果1次免除」欄に「○」をプルダウンリストから選択してください。
- (3) P4 3(1)②に該当する者で、第1次選考試験免除を希望する者は「臨+30一免 臨+29一免」欄に右表の該当するコードをプルダウンリストから選択してください。

一免の区分	コード
臨+29一免	1
臨+30一免	2
- (4) P5 3(1)③に該当する者で、第1次選考試験免除を希望する者は「高校看護」欄に「○」をプルダウンリストから選択してください。
- (5) P5 3(1)④に該当する者で、第1次選考試験免除を希望する者は「本県過去正規教員」欄に「○」をプルダウンリストから選択してください。
- (6) 障害者の特別選考を希望する者は「障害者」欄に「○」をプルダウンリストから選択してください。
- (7) 「音楽」「美術」「技術」「家庭」のいずれかを含む複数中学校免許所有者への特別選考を希望する者は「複数中学校免許」欄に「○」をプルダウンリストから選択してください。ただし、希望した場合は「特支希望」をすることはできません。
- (8) 社会人の特別選考(高等学校(看護)・高等学校(福祉))を希望する者は「社会人」欄に「○」をプルダウンリストから選択してください。

- (9) 受験区分が「小学校・特別支援学校」または「中学校・特別支援学校」の者は全員、特別支援学校の希望(P7 8参照)について、「特支希望」欄に下表の希望パターンに応じて該当するコードをプルダウンリストから選択してください。

なお、特別支援学校の免許を所有していない場合、「小学校・特別支援学校」の者は3、「中学校・特別支援学校」の者は7しか選択できません。

また、「中学校・特別支援学校」の者で、国語・数学・英語・音楽・美術・保健体育・家庭において、第2希望(P7 7参照)を希望する場合は、7しか選択できません。

受験区分	希望パターン		コード
小学校・特別支援学校	第1希望＝小学校	第2希望＝特別支援学校	1
	第1希望＝特別支援学校	第2希望＝小学校	2
	第1希望＝小学校	第2希望＝なし	3
	第1希望＝特別支援学校	第2希望＝なし	4
中学校・特別支援学校	第1希望＝中学校	第2希望＝特別支援学校	5
	第1希望＝特別支援学校	第2希望＝中学校	6
	第1希望＝中学校	第2希望＝なし	7
	第1希望＝特別支援学校	第2希望＝なし	8

- (10) 国語・数学・英語・音楽・美術・保健体育・家庭・養護教諭において、第2希望(P7 7参照)を希望する者は「第2希望」欄に「○」をプルダウンリストから選択してください。ただし、「音楽」「美術」「技術」「家庭」のいずれかを含む複数中学校免許所有者への特別選考を希望する者は、第2希望を選択できません。

- 4 「名前」欄は全角で入力し、姓と名の間は全角1文字空けてください。「フリガナ」欄は半角で入力し、姓と名の間は半角1文字空けてください。また、外国籍の者で通称名で受験される場合、「名前」の欄には「本名」と「通称名」(ただし通称名は()書き)の両方を入力してください。「性別」欄は、プルダウンリストから選択してください。
- 5 「生年月日」欄を入力すると、2020年(令和2年)4月1日現在の年齢が表示されますので、入力に誤りがないか確認してください。
- 6 「教員免許状」欄は、取得及び取得見込みの免許状を行数に収まる範囲で、種類・種・教科・取得(見込)年月の年号をプルダウンにより選択し、取得(見込)年月を直接入力してください。なお、一番上の行(11行目・セル黄色)には、出願する教科に相当するものを入力してください。
- 7 「現住所」欄は、寮名・アパート名・○○方など詳しく入力してください。入力した内容は「受験票の送付先」欄に自動的に表示されますが、受験票の送付先が現住所と異なる場合は、必ず「受験票の送付先」欄を修正入力してください。
また、受験票の送付先が現住所と同じ場合でも、「同上」とは書かないでください。
- 8 携帯電話を所有している場合は「携帯電話」欄にその番号を入力してください。「現住所」欄は、市外局番から入力してください。(固定電話がない場合は、携帯電話等連絡がつく番号を入力してください。)
- 9 「学歴」欄は、高等学校以上の学校名等を行数に収まる範囲で入力してください。また、「最終学歴」は一番下の行(33行目・セル黄色)に入力してください。なお、転校している場合などは行を分けて入力してください。

高等学校・高等専門学校(29～30行目)：

→ 「都道府県」「区分」欄をプルダウンリストから選択し、「学校名」欄は直接入力

短期大学・大学・大学院・大学専攻科・短大専攻科(31～33行目)：

→ 「都道府県」「区分」欄をプルダウンリストから選択後、「学校名」欄もプルダウンリストから選択(学校名がプルダウンリストにない場合は、「学校名」は直接入力してください。)

- 10 最終学歴により「学校区分コード」欄に下表の該当するコードをプルダウンリストから選択してください。

学 校 区 分		コード
国 立 大 (国立大学法人)	教育学部・学校教育学部	1
	上記以外の学部	2
公 立 大	一般大学(国立・私立大学以外の大学)・学部	3
私 立 大	一般大学(国公立大学以外の大学)・学部	4
国公私立・大学院・専攻科(大学の短期大学部、短期大学の専攻科を除く)		5
国公私立・大学の短期大学部・短期大学(左の専攻科も含む)		6
上記以外のもの		7

- 11 「免許状取得のために単位を補充した大学等」欄は、大学などの卒業後、免許状取得のために、通信教育または、聴講で修学した大学名などを入力してください。

- 12 「教員資格認定試験」欄は、教員資格認定試験により取得した免許状および取得見込みの免許状に相当する区分、教科に出願する場合、合格または受験予定の年月日を記入してください。
- 13 「部活動歴」欄は、学校区分ごとに主なもの一つについて、部名（高等学校における必修クラブは除外）、実際の継続期間、役職名を入力してください。同好会の場合は○同好会と入力してください。
- 14 (1) 「主な部活動実績」欄は、在学中および卒業後の体育・文化活動などにおける顕著な活動実績について、「大会規模」欄は該当する大会規模をプルダウンリストから選択し(近畿大会等の規模の場合は「地方」を選択)、「大会名」「主催」「表彰・記録」「年月」「内容」を入力してください。※加点対象でないものについても記入してください。
- (2) 「資格」欄は、英検1級など、教育活動に関連の深いものについて記入してください。その際、取得した年も必ず入力(例：S59、H24)してください。※加点対象でないものについても記入してください。
なお、「中学校・特別支援学校区分」または「高等学校区分」の英語を受験する者は全員、以下のいずれかの資格を有することが出願資格であるため、必ず一番左の「資格」欄に「取得年(セルC53)」および「資格の名称、級または点数(セルD53)」を入力してください。
【英語受験者の出願資格】
 ① 英語検定2級以上 ② TOEIC(L&R)550点以上 ③ TOEFL(iBT)60点以上 ④ 国連英検B級以上
- また、英語資格所有者の加点(P6 5(2)参照)を希望する場合も、必ず「資格」欄に「取得年」および「資格の名称、級または点数」を入力してください。(小学校・特別支援学校区分受験者における加点も含む)
- (3) P6 5(1)～(4)に該当する者は、「5 加点措置の該当の有無」欄に、「有」をプルダウンリストから選択してください。また、P7 5(4)に該当する者は、「青年海外協力隊(JICA)での国際貢献活動において2年以上の経験を有する者」欄に、「○」をプルダウンリストから選択してください。さらに、P7 6(3)に該当する者は、「本県内の公立学校(神戸市立学校を除く)において臨時講師経験を3年以上有する者」欄に、「○」をプルダウンリストから選択してください。
- (4) 「学外活動」の欄には、ボランティア活動、地域社会での活動などにおける、活動名、役職名、継続期間、表彰(実績)などを入力してください。
- (5) 「得意分野・重点履習分野」の欄は、得意分野や大学等で重点的に履習した分野について入力してください。
- (6) 「特技」「部活動で指導できる種目」の欄は、それぞれ簡潔に入力してください。
- (7) 「特筆したい表彰・経歴」の欄は、加点・配慮措置欄に入力した内容以外で、アピールしたいことを簡潔に入力してください。
- (8) 「中学校・特別支援学校区分」または「高等学校区分」の保健体育受験者は、「保健体育受験者の専門種目」欄に専門種目を入力してください。
- 15 「運転免許」の欄は、2つのセルがあります。それぞれプルダウンリストから選択してください。
- 16 出願時点で大学院修士課程の在学または進学による採用時の特例(P13 VI 3参照)を希望するものは「大学院特例」の欄に「○」をプルダウンリストから選択してください。
- 17 「研究テーマ」の欄は、卒業論文のテーマまたは大学在学中に長期間研究したテーマを必ず入力してください。
- 18 不合格の場合に臨時的任用を希望する者は、「臨時的任用の希望」欄に下表の該当するコードをプルダウンリストから選択してください。希望しない場合は入力不要です。
- | 区 分 | コード |
|---|-----|
| 不合格の場合に臨時的任用を希望する者で、出願時点で公立学校の臨時講師等(非正規)として勤務している者 | 1 |
| 不合格の場合に臨時的任用を希望する者で、出願時点で公立学校の臨時講師等(非正規)として勤務していない者 | 2 |
- 19 「職歴」欄は、出願時現在を含め、新しいものから順に行数に収まる範囲で簡潔に入力してください。
- 20 賞罰がある場合には、必ず「賞罰」欄にその内容を入力してください。
- 21 「小学校・特別支援学校区分」受験者は全員、「泳力」欄に該当するもの(泳法は問わない)をプルダウンリストから選択してください。また、泳力に関して特記すべき内容があれば、「特記事項欄」に入力してください。
- 22 「小学校・特別支援学校区分」受験者のうち、『採用地域希望優先制度』を希望する者は「採用地域希望」欄に該当する地域(但馬・丹波・淡路)をプルダウンリストから選択してください。
- 23 2の「現在の身分」欄に「5」(正規の教員)を入力した者、および過去正規教員に該当する者は、「初任者研修受講経験の有無」欄をプルダウンリストから選択し、「有」の場合は、教科区分および受講時期を「教科区分」「時期」欄にそれぞれ入力してください。

【願書をプリントアウト後に自書する内容等について】

- 1 「人間力のある教員とは」欄は面接試験の際の参考資料としますので、自筆で必ず記入してください。
- 2 「自署」欄に必ず日付（願書に記入した日）と名前を自署してください。
- 3 「写真」欄に大きさ3cm×4cmの写真を貼ってください。なお、上半身無帽で鮮明なものを用意し、裏面に区分、教科、名前をボールペンで記入のうえ、はがれないようにしっかりと貼り付けてください。なお、電子データであらかじめ貼り付けたものをプリントアウトすることも可とします。
また、6月中旬に届く受験票にも願書と同じものを貼り付けてください。
- 4 ファイルの3ページ目に切手貼付用紙がありますので、プリントアウトし、所定の位置に切手を2枚(62円切手1枚・82円切手1枚)貼って提出してください。

※ 提出後の記載内容の変更は認めませんので、慎重に入力及び記載してください。

また、虚偽の記載があった場合、または、記載すべき賞罰・休職等の記載がなかった場合は、「合格」または「条件付合格」の資格が無効になる場合があります。

【区分・教科コード表】

区 分	教科・科目(分野)	コード	区 分	教科・科目(分野)	コード
小学校・特別支援学校(男)		111	高等学校	音 楽	354
小学校・特別支援学校(女)		112		美 術	355
中 学 校 ・ 特別支援学 校	国 語	220		書 道	356
	社 会	221		保 健 体 育	357
	数 学	222		家 庭	360
	理 科	223		看 護	361
	音 楽	224		福 祉	362
	美 術	225		情 報	363
	保 健 体 育	227		農 業 (農 業 ・ 園 芸)	366
	技 術	229		工 業 (機 械)	370
	家 庭	230		工 業 (電 気 ・ 電 子)	371
	英 語	231		工 業 (建 築)	372
高等学校	国 語	340		商 業	380
	地 理 歴 史	342		英 語	381
	数 学	347		水 産	383
	理 科 (物 理)	350		養 護 教 諭	490
	理 科 (化 学)	351		特 別 支 援 学 校	491
	理 科 (生 物)	352		栄 養 教 諭	492

※ 提出前に以下の内容を再チェックしてください。

(不備の内容によっては、再提出を求められることがあります。)

- 願書1枚目下部にQRコードが2箇所付いているか。
- 願書はA4片面で2枚プリントアウトされているか。印字が薄くないか。
- 願書1枚目に写真が貼り付けてあるか。
- 願書1枚目の区分、教科に誤りはないか。
- 願書1枚目の受験票の送付先欄は正しいか。
- 願書2枚目の「人間力のある教員とは」欄、自署欄は自筆で記入しているか。
- 履歴証明書が必要な場合(P3 III 1 (3)の表参照)、添付されているか。
- 切手貼付用紙に62円切手1枚と82円切手1枚が貼り付けてあるか。

【記入例】

2020年度(令和2年度)兵庫県公立学校教員採用候補者選考試験受験願書

※受験番号

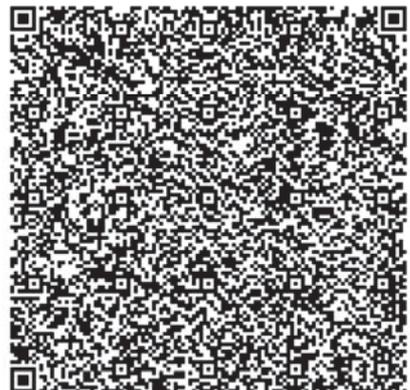
区分	教科・科目(分野)	コード	現在の身分	現職一専免除	1次試験免除				特別選考				特支希望	写真				
中特	英語	231	5	○	H31結果1次免除	H20-21結果2次免除	高校看護	本県過去年度教員	障害者	教員免許免除	社会人	7	○	写真 ・出願時に貼ってください。 ・3ヶ月以内に撮影したもの(上半身無帽) ・写真の裏に区分、教科、名前を記入してください。 ・枠内にはがれないようにきちんと貼り付けてください。 ・大きさ3cm×4cm				
フリガナ	ヒヨウゴ サクラコ			性別	教員免許状(1番上の行(11行目)は出願教科に相当するもの)													
名前	兵庫 桜子			女	種類	種	教科	取得(見込)年月										
生年月日	昭和 51 年 7 月 14 日生 43 歳 (令和2年4月1日現在)				中学	専修	英語	平成	14	年	3	月						
					高校	2種	英語	平成	14	年	3	月						
					小学	2種		平成	18	年	3	月						
					特別支援	1種		平成	21	年	3	月						
現住所	郵便番号 〒 650 - 8567 都道府県 兵庫県 市区郡・町村、番地、ビル・マンション名 神戸市中央区下山手通5-10-1			現住所		123 - 456 - 7890												
受験票の送付先	郵便番号 〒 650 - 8567 都道府県 兵庫県 市区郡・町村、番地、ビル・マンション名 神戸市中央区下山手通5-10-1			携帯電話		080 - 0000 - 0000												
				その他の														
学歴	都道府県	区分	学校名	学部	課程・学科	専攻	在学期間				区分							
	兵庫県	高等学校	〇〇高等学校				平成	5	年	4	月	～	平成	8	年	3	月	卒業
	大阪府	大学	〇〇大学	教育	学校教育教員養成	英語専攻	平成	8	年	4	月	～	平成	12	年	3	月	卒業
兵庫県	大学院	〇〇大学院		教育学研究科	英語専攻	平成	12	年	4	月	～	平成	14	年	3	月	修了	
↑ 最善学歴は必ず33行目に記載 学校区分コード(最終学部) 5 国公立・大学院・専攻科(大学の短期学部、短期大学の専攻科を除く)																		
免許状取得のために単位を補充した大学等		〇〇 大学 教育 学部		教員資格認定試験		年		月		日								
部活動歴																		
区分	部名など			役職名(主将など)			区分	部名など			役職名(主将など)							
高等学校	茶道部			副主将			大学等	弓道部			副主将							
	(年 月)							(年 月)										
加点・配慮措置	大会規模	大会名		主催		表彰・記録		元号	年	月	内容							
	国際	世界選手権大会		世界弓道協会		優勝		平成	21	8	弓道							
資格	取得年	資格の名称		取得年	資格の名称		取得年	資格の名称		5 加点措置 該当の有無								
	H9	英検2級		H15	TOEIC900													
青年海外協力隊(JICA)での国際貢献活動において2年以上の経験を有する者	〇						本県内の公立学校(神戸市立学校を除く)において臨時講師経験を3年以上有する者(履歴証明書Bを必ず添付すること)											
学外活動	青年海外協力隊H14～H16(2年間)			得意分野・重点履修分野		言語学		特技										
	災害ボランティアコーディネーター(H28～)																	
特筆したい表彰・経歴	〇〇オリンピックで銅メダル受賞																	
部活動で指導できる種目	剣道		保健体育受験者の専門種目		野球		研究テーマ		コミュニケーション能力を育成する英語教育について									
運転免許	有 普通自動車		大学院特例		○													
身体等に事情がある方で、受験時に特に配慮をして欲しいことがあれば、記入してください。										特になし								

臨時的任用の希望(臨時講師など) 1 ※有の場合、教育委員会等から連絡が入る可能性があります。

※整理番号



2019040215013219760714



区分	教科・科目(分野)	コード	※受験番号	名前
中特	英語	231		兵庫 桜子

職 歴 (出願時現在を含め、新しいものから順に行数に収まる範囲で)

就職している者または就職経験のある者は、主な職歴について就職年次、就職先を出来るだけ簡潔に記入してください。
 国・公・私立学校の教職員(教諭、臨時講師、非常勤講師等)の場合は、その職名を記入してください。
 勤務時間は正確に記入してください。
 非常勤の場合は、勤務時間欄に週当たりの時間数を記入してください。(週当たり決まっていない場合は、年当たり等、適宜記入してください。)
 休職等勤務実態のない期間のある場合も必ず記入してください。
 職歴がない場合は1番上の行(95行目)に「なし」と記入してください。
 なお、職歴等の追加のための別紙等添付しないでください。

自 年 月	至 年 月	任 免 事 項 等	職 名	勤 務 時 間
平成 21 4	現 在	〇〇市立〇〇中学校(うちH23.6~H25.3育児休業)	[教 諭]	
平成 20 4	平成 21 3	〇〇県立〇〇特別支援学校	[臨 時 講 師]	
平成 19 4	平成 20 3	〇〇市立〇〇中学校	[非 常 勤 講 師]	(週16時間)
平成 18 4	平成 19 3	〇〇市立〇〇小学校	[非 常 勤 講 師]	(年間90日)
平成 17 4	平成 18 3	在家庭		
平成 16 4	平成 17 3	株式会社〇〇		
平成 14 4	平成 16 3	青年海外協力隊(エルサルバドル)		

賞 罰 (ある場合は必ず記載してください。)

自 年 月	至 年 月	賞 罰 事 項	勤 務 先 等	職 名
平成 25 10		戒告	[〇〇]	(△△)

現職正規教員又は過去正規教員に該当する場合
 初任者研修受講経験の有無 有 無
 有の場合は教科区分および時期を記入すること
 教科区分 時期
 中学英語 (H21.4~H22.3)

泳力に関する申告(小学校・特別支援学校区分受験者のみ全員記入)
 泳力 特記事項
 ↑泳法は問わない ↑泳力に関して特記すべき内容があれば記入
採用地域希望優先制度
 ←小学校・特別支援学校区分受験者で希望する場合のみ入力

人間力のある教員とは

この欄は印刷後に自書すること

本記載事項が事実であるとともに、地方公務員法第16条および学校教育法第9条の各号のいずれにも該当しないことを誓います。

2019年(令和元年) 月 日 名前
 この欄は印刷後に自書すること

参考事項 (試験会場を間違えないよう、よく確認してください。)

(1) 願書受付場所案内図

兵庫県教育委員会教職員課(兵庫県庁3号館11階)
 〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

- JR神戸線、阪神「元町駅」から北へ徒歩10分
- 神戸市営地下鉄「県庁前駅」下車すぐ

(2) 試験場案内図

兵庫県立大学神戸商科キャンパス
 (旧学園都市キャンパス)

- 神戸市営地下鉄「学園都市駅」から徒歩10分
 (受付場所までは、さらに約5分)

神戸親和女子大学鈴蘭台キャンパス

- 神戸電鉄「鈴蘭台駅」より徒歩約10分
- 阪急バス「神戸親和女子大学前」下車すぐ

関西学院大学西宮聖和キャンパス

- 阪急電鉄今津線「門戸厄神駅」より徒歩約13分

県立加古川東高等学校

- JR「加古川駅」下車、徒歩約10分

県立播磨南高等学校

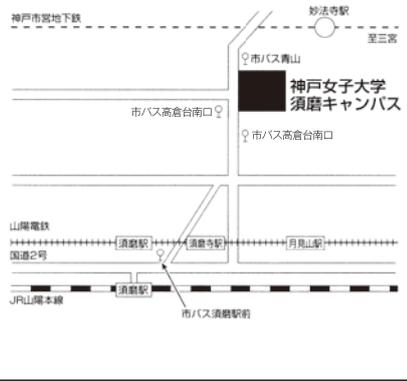
- 山陽電鉄「西二見駅」より徒歩約10分

県立御影高等学校

- 阪神御影駅から徒歩7分
- 阪神石屋川駅から徒歩5分
- 阪急御影駅から徒歩10分
- JR住吉駅から徒歩15分

神戸女子大学須磨キャンパス

- JR、山陽電鉄「須磨駅」から市バス71・72・75系統または神戸市営地下鉄「妙法寺駅」から市バス75系統「高倉台南口」下車、徒歩3分



県立尼崎稲園高等学校

- JR宝塚線「猪名寺」駅西すぐ
- 阪急伊丹線「稲野」駅東へ徒歩6分
- 阪急バス「猪名寺西口」「つかしん前」すぐ



県立神戸高等学校

- 阪急神戸線「王子公園駅」下車、北へ1km
- 阪急神戸線「三宮駅」または「六甲駅」から市バス2・18系統「神戸高校前」下車すぐ



県立加古川西高等学校

- JR「加古川駅」より徒歩約15分



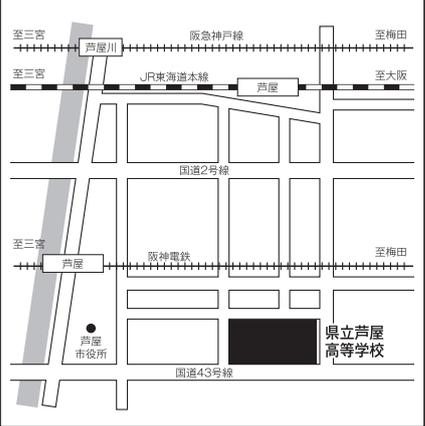
県立姫路東高等学校

- JR姫路駅から徒歩20分
- 神姫バス姫路駅前から約8分『姫山公園・博物館前』下車
- 最寄駅(JR京口駅)から徒歩10分



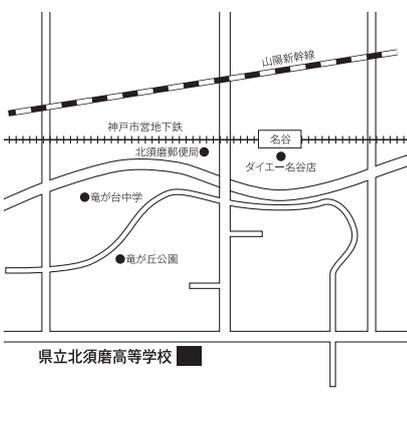
県立芦屋高等学校

- 阪神芦屋駅より東へ徒歩8分
- JR芦屋駅より南へ徒歩10分
- 阪急芦屋川駅より南東へ徒歩18分



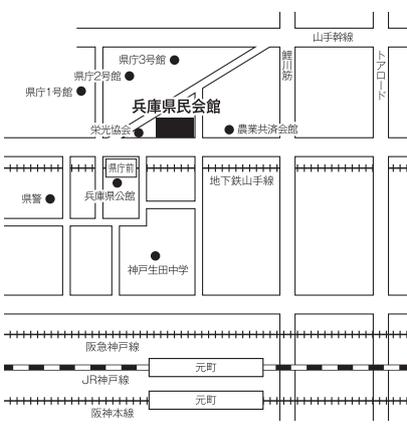
県立北須磨高等学校

- 神戸市営地下鉄「名谷」駅下車南へ約1km(徒歩12分)



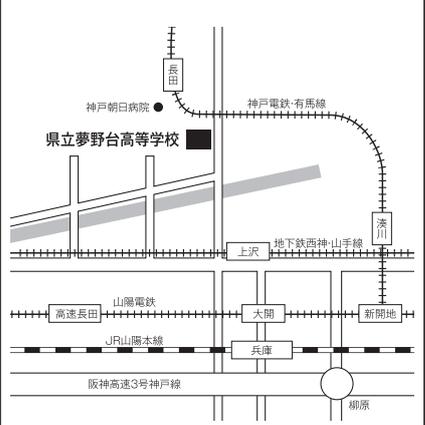
兵庫県民会館

- 地下鉄山手線「県庁前」東出口1から右へ50m
- JR神戸線「元町駅」より北へ徒歩約7分



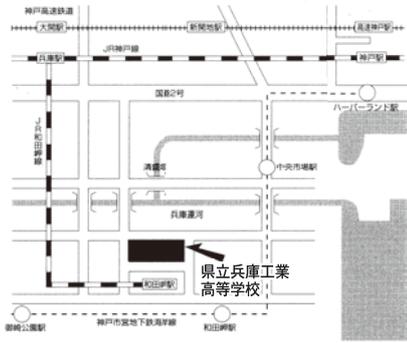
県立夢野台高等学校

- 神鉄 長田駅から南へ徒歩約10分
- 神鉄 湊川駅から西へ徒歩約15分
- 地下鉄 上沢駅から北へ徒歩約10分
- 高速 大開駅から北へ徒歩約15分
- J R 兵庫駅から北へ徒歩約25分



県立兵庫工業高等学校

- 神戸市営地下鉄海岸線「和田岬駅」下車
2番出口より北へ200m
- JR和田岬線「和田岬駅」より北へ200m
- JR「兵庫駅」より南へ徒歩20分



県立西宮高等学校

- 阪急今津線「甲東園駅」下車、西へ800m



【試験当日の緊急連絡先】

(090) 3357-7815・7816 教職員課選考試験係

※試験当日のみ通話可

